

公益社団法人日本トライアスロン連合 (JTU)
2020 年度 (令和 2 年度) 第 4 回定時理事会 議事録 (案)

[1] 開催：2021 年 3 月 24 日 (水) 13:00～18:50

形式：インターネット ウェブ会議方式

[2] 出席 (理事 25 名、監事 2 名)

岩城光英、國分孝雄、仲井公哉、大塚眞一郎、中山正夫、岸田吉史、飯島健二郎、鈴木貴里代、山倉紀子、村瀬訓生※、和田知子、関根明子※、山根英紀、富川理充※、原澤敦美※、上田藍、佐藤圭一、豊岡正康、園川峰紀、小林洋、宮本悦子、大野徹雄、須山浩光、加納修二、宮城直久 (以上、理事 25 名)。※遅れて出席。

萩原政吉、秋山智昭 (以上、監事 2 名)

- ・オブザーバー (3 名) 中山俊行 (オリンピック対策チームリーダー)、川添勝 (東京都連合専務理事、JTU 審判委員長※)、齋藤れい (桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部准教授※) ※次期理事候補
- ・事務局出席 (8 名) 坂田洋治、児玉健太、長江千明、土屋佳司、萩原舞、大岩葵、内藤裕也、島村直子

[3] 議事の経過

JTU 定款第 6 章 (理事会) 第 34 条 (決議) により、ウェブ会議進行役の児玉事務局次長が、一時離席時の申告など進行上のお願いの後、理事出席を一人ずつ確認し、定足数を満たしていることを報告した。定款 33 条 (議長) により、岩城会長が議長として開催宣言を行い、同第 23 条 (理事の職務及び権限) による会長及び業務執行理事の職務執行状況が報告された。その後、定款第 36 条 (議事録) により、会長、監事 2 名を議事録承認者とし、大塚専務理事、宮本理事を議事録の確認者、議事録作成者に事務方を指名し、議案の審議に入った。

第 0 号議案) 前回理事会の議事録

2020 年度第 4 回臨時理事会の議事録案について、メール回覧済の事務方報告があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 2020 年度第 4 回臨時理事会 (2021 年 1 月 19 日開催) の議事録案

第 1 号議案) 国際大会関連 (ワールドトライアスロン状況)

標題について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) ワールドトライアスロン主管大会の国内開催予定

- ・説明骨子) アジア選手権については、感染症対策のための関西国際空港発着限定を含む廿日市側の開催提案を支持する。一方、ワールドトライアスロンカップ大阪城大会は、開催を断念する。横浜大会は、廿日市と同様レベルの対策を講じ、二日間に及ぶスタンダードディスタンス (51.5 キロ) などの各レースを実施する。

第 2 号議案) 2021 年度事業計画・予算案

標題について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) 2021 年度事業計画
- ・承認事項 2) 2021 年度収支予算 (案)
- ・承認事項 3) 2020 年度収支執行状況
- ・補足事項) 事業計画の大会日程は、開催状況に応じ、随時、情報更新を行う。

第 3 号議案) JTU ガバナンスコードの公表

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 「JTU スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>」の遵守状況の自己説明内容
- ・補足事項) 今後、ブロック理事を中心に、JTU 加盟団体のガバナンスコード策定を推進する。

第 4 号議案) JTU 役員候補者選考委員会規程の新設/役員選任規程の変更案/委員候補案

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) JTU 役員選任規程の変更案
- ・補足事項) JTU 役員選任規程 (2020 年 5 月 15 日理事会承認) の傍線部分を修正し、「就任時に 18 歳以上 80 歳未満」を追加する。
- ・承認事項 2) JTU 役員候補者選考委員会規程
- ・補足事項) 目的にある法人格を「公益社団法人」に修正する
- ・承認事項 3) 委員候補案
- ・補足事項) 社員枠の人数及び候補者については引き続き検討する。

第 5 号議案) JTU 理事・監事選考 (2021 年度・2022 年度)

標題について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) JTU 理事・監事選考案

- ・補足事項) JTU 社員、顧問・参与、主要大会出場経験選手、外部有識者、事務総長・局長、会長が指名した者からなる選考委員会において、候補者及び推薦にかかわる手順が適正であったかなどを審議する。

第 6 号議案) 関連競技団体への理事候補者の推薦

標題について、大塚専務理事から説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項 1) (公財) 日本スポーツ協会 2021・2022 年度理事候補として山倉紀子常務理事を推薦する。
- ・承認事項 2) (公財) 日本オリンピック委員会 2021・2022 年度理事候補として飯島健二郎常務理事を推薦する。
- ・承認事項 3) (一社) 大学スポーツ協会 2021・2022 年度理事候補として浅沼美鈴コーチ(愛知)を推薦する。

第 7 号議案) JTU 定款の変更

標題について、事務方から説明があった後、質疑などなく、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) JTU 定款にある任期途中での増員理事(監事)についての追記
- ・説明骨子) 定款第 25 条を「4. 増員により選任された理事または監事の任期は、他の在任者の残任期間と同一とする」に変更・追記する。

第 8 号議案) JTU 男女平等 (E)・多様性(D)・共生(I)委員会(E. D. I Committee)の設置

標題について、大塚専務理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 仮称 E. D. I. 委員会の新設
- ・補足事項) E(=Equity). D(=Diversity). I(=Inclusion)の言葉の捉え方については委員会の中で議論していく

第 14 号議案) 強化チーム/オリンピック関連 (順番を変え、第 5 号議案の次に審議)

- ・審議事項) 東京 2020 大会日本代表選手選考基準(変更案)
標題について、事務方及びオリンピック対策チームリーダーから説明があった。選考基準の QF 係数などの解釈について様々な議論があり、次回臨時理事会での継続審議となった。

第 15 号議案) アジアトライアスロン選手権(2021/廿日市) エリート日本代表候補選手

標題について、事務方から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議な

く承認可決した。

- ・承認事項) アジアトライアスロン選手権 (2021/廿日市) 男女代表候補選手

女子: 上田藍、高橋侑子、佐藤優香、井出樹里、岸本新菜 (入替候補: 福岡啓)

男子: ニナーケンジ、古谷純平、北條巧、小田倉真、佐藤錬 (入替候補: 石塚祥吾)

補足事項: オリンピック女子代表 3 枠獲得に向けた日本チームの戦略について、代表選手に理解を求め、競技終了後に戦略内容を公表することが確認された。

第 21 号議案) パラリンピック対策チーム承認依頼・報告事項

標題について、富川理事から説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) 東京 2020 パラリンピック競技大会代表選考基準修正案

- ・説明骨子) パラリンピック出場資格ランキングリストの表記を PQL から PQR に変更し、開催延期に伴いクオリフィケーション期間の終了日 (2021 年 7 月 15 日) を修正する。

第 22 号議案) 東京 2020 パラリンピック競技大会スタッフ選考基準

標題について、富川理事から説明があった後、質疑などなく、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) パラリンピック競技大会スタッフ選考基準

- ・説明骨子) 男女各クラスで出場権を獲得した選手に合わせ、パラリンピック対策チームメンバーを中心にスタッフの配置を進め、村外スタッフはメディカル・情報戦略等、事前・当日の役割を検討した上で、相当数を選考する。

第 23 号議案) 東京 2020 パラリンピック競技大会アクレディテーション申請案

標題について、富川理事から説明があり、質疑などないことが確認された後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

- ・承認事項) パラリンピック競技大会アクレディテーション申請案

[女子選手] 土田和歌子 (PTWC)、秦由加子 (PTS2)、谷真海 (PTS5: 混合クラス)、
円尾敦子 (PTVI) 菊池日出子 (ガイド)、中原恭恵 (ガイド)

[男子選手] 木村潤平 (PTWC)、宇田秀生 (PTS4: 混合クラス)、佐藤圭一 (PTS5)、梶鉄輝 (PTS5)、米岡聡 (PTVI)、高橋勇市 (PTVI)、中澤隆 (PTVI)、山田陽介 (PTVI)、
椿浩平 (ガイド)、松丸真幸 (ガイド)、久保埜一輝 (ガイド)

[女子スタッフ (ハンドラー含む)]: 大岩葵、ベリーノ里紗、吉越美佐、加藤友里恵

[男子スタッフ (ハンドラー含む)]: 富川理充、高橋慶樹、陶山昌宏、松山文人、齋藤徹

第 24 号議案) 2021 年度パラトライアスロン対策チーム専任スタッフ等配置 (案)

標題について、富川理事から説明があり、質疑応答の後、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

・承認事項) 2021 年度パラトライアスロン対策チーム専任スタッフ等配置 (案)

1) JPC 助成事業

- i) 専任コーチングディレクターA: 富川理充 (B より変更)
- ii) 専任コーチングディレクターC: 高橋慶樹 (継続)
- iii) 専任コーチングディレクターD: 菊池日出子 (継続)
- iv) 専任競技用具担当スタッフ: 塩野谷聡 (メカニック) (継続)

2) 日本財団パラリンピックサポートセンター助成事業

- i) 人的資源申請 (フルタイム雇用): 齋藤徹 (継続)
- ii) 人的資源申請 (事務局運営): 宮澤依子 (継続)

3) JSC 次世代ターゲットスポーツの育成支援事業

- i) 強化責任者: 富川理充 (継続)
- ii) コーディネーター: 陶山昌宏 (継続)
- iii) アドミニストレーター: 吉越美佐 (継続)
- iv) 情報分析スタッフ: 調整中

4) J-STAR プロジェクト (アスリートパスウェイの戦略的支援) (新規)

- i) 事業責任者・全体統括: 富川理充

・補足事項) 2021 年 9 月末までの体制となる。

第 9 号議案から第 34 号議案: (一部審議済)

標題の各議案 (第 14 号議案は継続審議) について、次回臨時理事会で審議することについて、議長が賛否を求めたところ、異議なく承認可決した。

[4] 閉会宣言

4 月 1 日を候補日として臨時理事会を開催することが告げられ、18 時 50 分に閉会した。

議事録署名人：

(岩城光英・議長・会長・代表理事) (印) 2021年 月 日

(荻原政吉・監事) (印) 2021年 月 日

(秋山智昭・監事) (印) 2021年 月 日

(大塚眞一郎・専務理事) (印) 2021年 月 日

(宮本悦子・理事) (印) 2021年 月 日

●備考)

次回臨時理事会で審議予定の議案一覧。(第 14 号議案は継続審議)

第 9 号議案) JTU 細則の変更

第 10 号議案) JTU 専門委員会規程の変更

第 11 号議案) JTU 専門委員会委員の推薦

第 12 号議案) JTU 加盟団体交付金の対応

第 13 号議案) 強化チーム/マルチスポーツ関連

第 16 号議案) パリ 2024 準備デスク

第 17 号議案) 日本選手権 出場基準

第 18 号議案) 年代別日本選手権 (日本 U23/U19/高等学校/U15) 出場基準案

第 19 号議案) 世界アジア U23 ジュニア選手権推薦基準

第 20 号議案) 認定関連

第 25 号議案) 2021 エイジグループランキング変更案

第 26 号議案) ワールドトライアスロン世界・アジアエイジグループ選手権エントリー基準案

第 27 号議案) 認定記録会 (エイジグループ選手推進方針)

第 28 号議案) 東京 2020 大会 (NTO 候補者推薦) 変更案

第 29 号議案) 2020 年度 JTU 第 1 種公認審判資格<新規・更新>承認

第 30 号議案) 2021 年度 JTU 公式大会技術代表 (TD)・審判長 (HR)

第 31 号議案) 2021 年度 JTU 国民体育大会におけるトップアスリーの予選会免除適用

第 32 号議案) 2021JTU オフィシャルパートナー・サポーターリスト

第 33 号議案) コナミスポーツのパートナー契約

第 34 号議案) 2021 年度 JTU 理事会・社員総会開催案

以上